

秋分を過ぎ夜が長くなるにつれ、朝夕の風も涼しく感じるようになりました。残暑が残る8月下旬に、広島市で発生した土砂災害の復旧作業は、現在も続いています。越美山系砂防事務所からも中部地方整備局のTEC-FORCE隊員第4陣として、8月末に続いて現地に派遣され、応急復旧に尽力しました。

広島土砂災害へTEC-FORCE隊員派遣 ～応急復旧へ国交省のノウハウを提供～

8月20日に広島市で発生した土砂災害に対する支援のため、当事務所から石原工務課長がTEC-FORCEの第4陣隊員として、9月9日から現地に派遣されました。派遣中は安佐南区八木地区にて、地元の施工業者や市職員と打合せの上、応急復旧箇所に対する大型土のう設置の施工監督を行いました。第4陣隊員は16日に、中国地方整備局へ活動状況の引継ぎを行って帰還し、同時に中部地方整備局の広島TEC-FORCE活動も終了しました。



応急復旧が進んでいます



地元の施工業者と現地確認

猛禽類の生態に配慮しています

当事務所では、工事を実施するにあたり、当広報誌の名前の由来でもある「クマタカ」を始めとする猛禽類の生態への影響について、継続的に調査を実施しています。

9月18日には、これまでの調査で確認された猛禽類の生息状況や行動範囲、また今後に影響が及ぶ恐れがある箇所やその対策について、調査を実施して頂いた、いであ(株)川西様より報告をして頂きました。所内で知識共有をし、今後の事業に生かしていきます。



調査内容の報告の様子

暑さ寒さも…ヒガンバナ

事務所近くの桂川沿いや道端などで、ヒガンバナが咲いています。鱗茎(りんけい)…球根状の地下茎(事)に強い有毒性があるため、水田の畦に咲いているものの中には、田を荒らすネズミや虫を避ける為に植えられたものもあります。



桂川沿いに咲くヒガンバナ

「旬な現場」に新たに登録 =地谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進める、地谷(ちたに)第2砂防堰堤工事(施工:西建産業(株))では、今年度予定した本堰堤のコンクリート打設が完了します。この後は、副堰堤及び前堤保護工の施工を行います。

なお、本現場は中部地方整備局の「旬な現場」に新たに登録されました。砂防堰堤を建設する工事現場と併せて、平成24年9月に本堰堤上流の「ギラ谷」で発生した土石流の流下痕や、流れ下って来た巨石もご覧いただくことができます。



本堰堤の施工状況

「旬な現場」についての詳細は[ココ](#)をクリック(中部地整HPへリンク)

土砂災害防止を願いつつ =大仲津谷=

揖斐川町坂内坂本地先で工事を進める、大仲津谷(おおなかつたに)第1砂防堰堤工事(施工:(株)山辰組)も、本堰堤の施工がほぼ完了し、副堰堤及び前堤保護工の施工に移ります。

本堰堤下流の諸家地区に建立する春日神社の境内には、昭和34年9月の伊勢湾台風による土砂災害により、諸家地区が受けた甚大な被害を振り返り、自然の猛威と復興に努めた先人の古里愛の情熱を思い、治山治水の大切さを知り、平穏が末永く続くことを願って「追憶の碑」が建てられています。

本堰堤も、土砂災害防止のため、力を十分に発揮してくれる事を願いつつ、今年度内の完成に向けて、工事を進めています。



春日神社の「追憶の碑」



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel:0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp